

とうべつ

議会だより



No. 195

平成30年12月1日発行

CONTENTS

9月定例会

- 税金の使い方をチェック・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
平成29年度各会計決算審査
- 台風・地震被害への対応は？・・・・・・・・・・・・ 6
総務文教常任委員会・産業厚生常任委員会
- 災害対策に多くの質問・・・・・・・・・・・・・・ 9
10人の議員が登壇 一般質問



台風21号で折れた阿蘇公園の開拓記念樹
(柵内のイチイの木、撮影：9月5日)

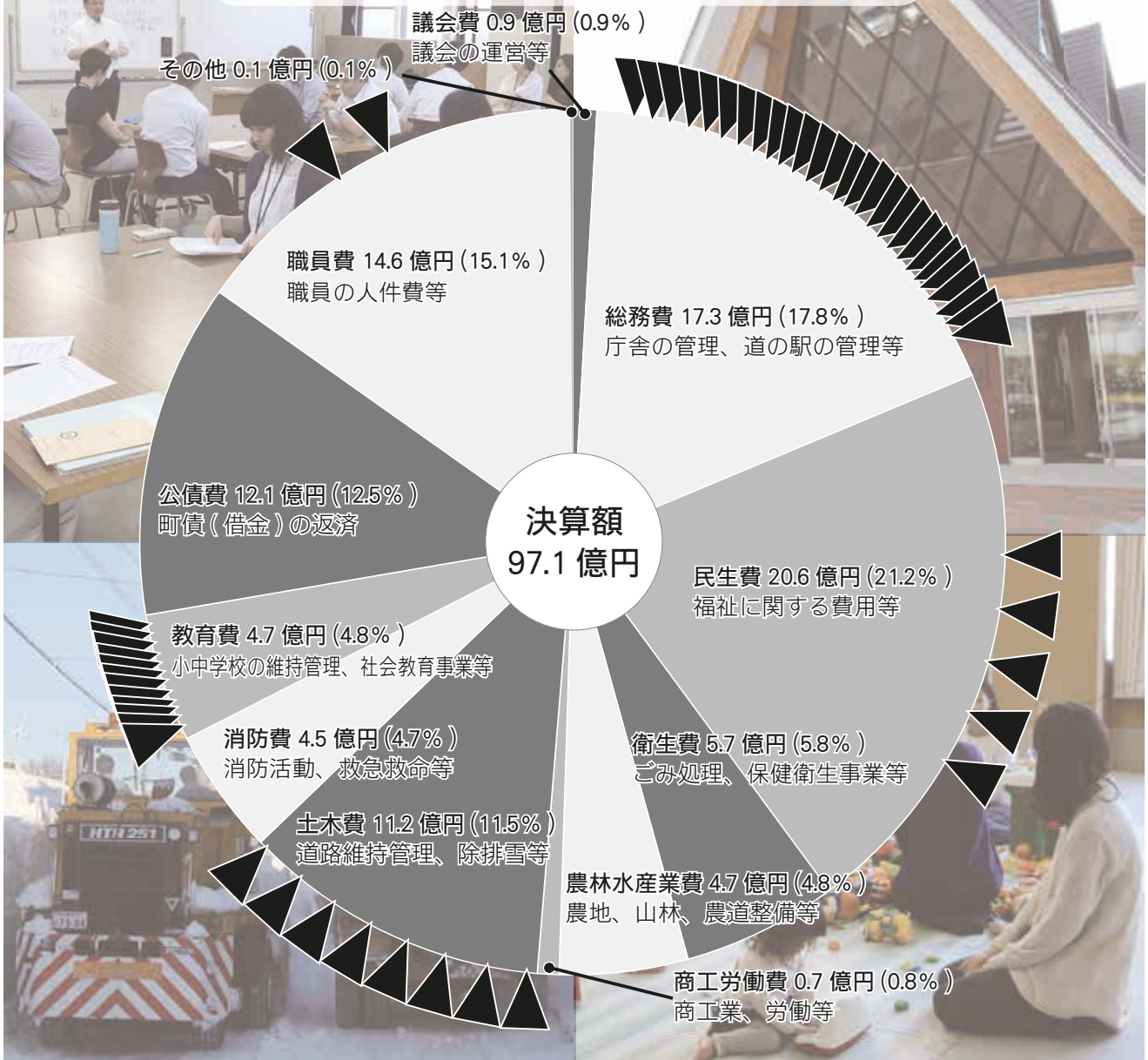
私たちは、ここに注目しました！

平成 29 年度各会計決算審査

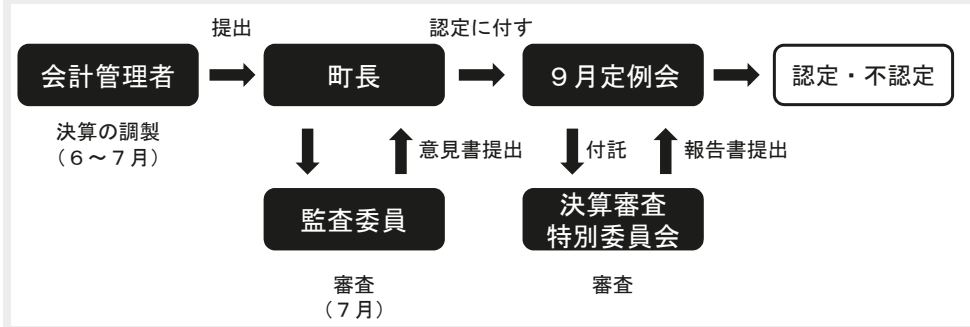
一般会計歳出

※一般的な行政にかかる経費の支出

▶ … 決算審査で各委員が質問したところ



決算の流れ



決算審査特別委員会
インターネット動画配信



議会だよりに掲載していない
質疑の様子が見られます。

町の未来をつくる教育・子育て

決算

決算審査 赤ちゃんの手形を焼き物に

子育て支援センター運営事業 275 万円

問 ベビーコース（0歳～独歩まで）の開催回数や参加人数が増えている。新たな取り組みや特徴的な取り組みをしたのか。また、利用者からの反応は。

答 28年度は隔週1回であったが、29年度は利用者のニーズにより週2回としたので参加人数も大幅に増加した。赤ちゃんの手形を焼き物にする事業も新たに展開し、利用者からは好評であった。



成長記念プレートを作っている様子

決算審査 保育所入所児童 年度末に増

保育施設等給付事業 1億4,833万円

問 保育所費の負担金で、予算の流用や予備費からの充用※¹により260万円という割と大きな増額がされている。その要因と流用や充用により対応した理由は。

答 増額した要因は、例年であれば、年度末に児童数は減少するが、29年度は年度末に低年齢児の入所が相次いだ。補正予算のタイミングに合わず、流用と充用により対応した。

決算審査 インターネットによる図書の予約

図書推進事業 824万円

問 29年度に行った図書室の充実を図る具体的な取り組みは。

答 29年度は、クラウド型※²の図書管理システムを導入し、インターネットによる図書の貸し出し予約の受付が可能になった。

※²クラウド…インターネットなどのネットワークを経由してサービスを提供する利用形態。

※¹ 予算の流用、予備費からの充用…予算の補正による増額・減額を伴わずに、予算で一定の目的に充てられた経費を用いて他の支出科目を増額したり、予備費を用いて他の支出科目を増額すること。

道の駅

決算

決算審査 アプリと当別町 MAP

株式会社 tobe への負担金 3,300万円

問 「とうべつ Navi」アプリのターゲットは。「当別町 MAP」はどのようなターゲット、活用方法を設定して作ったのか。

答 アプリとマップは、町民と札幌市北区・東区の

特に女性をターゲットに作った。また、マップの活用方法は、どこに何が基礎情報をまずはお伝えするために作った。アプリについては、町として、旬な情報を更新するよう(株) tobe に指導したいと考えている。

決算審査 太美駅から道の駅までの運賃

公共交通活性化協議会負担金 2,025万円

問 コミバス西当別道の駅線実証運行のスタート段階から、太美駅から道の駅までの往復運賃が400円では高すぎるといった意見が多くあった。アンケートや(株) tobe との協議はしたのか。

答 29年度に道の駅線沿線住民向けにアンケートを実施した。一部の方からワンコインがいいという意見もあった。30年9月末で実証運行の結果が出るので、運賃も含め検証作業を進めていく。

暮らしを支える共生社会へ

決算

決算
審査

引きこもりに関する相談は

地域生活支援事業・相談支援事業 764万円

問

相談支援事業は、当別町障がい者総合相談支援センターななかまどへ委託しているが、その中で、引きこもりに関する相談はあったか。また、その件数は。

答

相談内容の把握については、「引きこもり」に関する項目は特にはない。「家族関係、人間関係」の項目では346件の相談があり、その中に引きこもりに関する相談も含まれている。

決算
審査

ファミサポ 利用数減少

子育て支援センター運営事業 275万円

問

ファミリー・サポート・システム事業は、28年度に比べ、**利用頻度が減ってきた**ことは、29年度の途中で気づいていたと思うが、**課題の洗い出しや新たな利用の喚起**は行ったのか。

答

課題解決に向け、**利用の際30分につき250円の費用がかかるが、無料お試し券を配布して利用促進**を図った。また、**広報掲載はじめ、乳幼児健診の場でも個別に制度の周知**をした。

決算
審査

利用者が増える見込みは

地域生活サポーター活動支援事業、買い物支援事業

問

利用者の実人数は、地域生活サポーターが3名、買い物支援が7名とのことだが、**運営費だけでそれぞれ170万円**かかっているのは、**なかなか課題が多い印象**を受ける。今後の見込みは。

答

地域生活サポーターの家事支援や買い物支援の相談は、**地域包括支援センターにも多数寄せ**られている。しっかりとマッチングを行い**利用者の増加**につなげていきたい。



買い物支援に使われるカタログ

移住促進・CCRC

決算

決算
審査

移住促進に向けた情報発信を

特別区連携プロジェクト事業 200万円

問

毎年、東京都中野区で特産品の販売などを行っているが、**当別町への移住に向けた情報発信**はどのように行われているか。

答

特産品販売を中心とした事業であるため、**直接的な移住の相談**はなかった。今後は、中野区という場所も考え、**移住に関するPR**をもう少し強くしたほうがいいと感じている。

決算
審査

CCRC 実現に向けた取り組みは

当別町版 CCRC 構想構築プロジェクト

問

28年度に当別町生涯活躍のまちづくり基本構想が策定され、そのスケジュールでは、**29年度に基本計画策定**となっていたと思う。CCRC 実現に向けどのような取り組みをしたのか。

答

一緒にプロジェクトを進めていただけ**事業者や民間企業へ基本構想のPR**に取り組んだ。29年度は、**22事業者へのアプローチ**を実施した。

決算

町民サービスを支える歳入

次のページは

常任委員会等審議

本会議前に、委員会で説明と審議が行われます。

決算審査 収納率 前年度比 0.27%増

町税の収納率

問 町税の収納率について、色々と努力して向上しているとの報告も聞いている。収納率はどれくらいか。

答 現年度分は98.76%、滞納繰越分は17.5%で合計は93.88%と、前年度に比べ0.27%の増となっている。滞納処分の強化等によって納税意識の向上が図られたものと考えている。

決算審査 町税等 36%がコンビニ収納

町税等のコンビニ収納サービス事業

問 現在、町税の収納方法は、コンビニ、銀行、そして窓口となっているが、それぞれの割合は。

答 国税も含めた収納の割合は、コンビニが36%、口座振替が35.6%、そして銀行窓口等が28.4%となっている。

決算審査 都市計画税の目的は

都市計画税

問 都市計画税は、どの地域にどのような考えで賦課しているのか。

答 総合的なまちづくりを目的として行う都市計画事業や土地の区画整理事業に関する費用の一部を

負担していただくことを目的に設けられ、当別町では、都市計画区域内の用途区域に所在する地区に対して課税しているものである。本町地区、太美地区に課税し、下水道や公園、道路などの整備拡充に使用している。

決算審査 賦課されていない地域は

都市計画税

問 公共下水を利用し、都市計画税が賦課されていない地区はどこか。29年度はどのような協議がされているのか。

答 29年度は、スウェーデンヒルズ地区と2回の

協議を行った。町内会役員さん向けの懇談会という形で、都市計画税や特定用途地域指定について説明している。今後も引き続き住民の理解に努めていきたいと考えている。

決算審査 減収の要因と使途指定

ふるさと納税推進事業

問 29年度のふるさと納税の寄附金が約4億6,500万円と前年度に比べ約1億2,000万円下がった。要因の分析はしたか？また、寄附者の意向を汲むための寄附金の使途指定は検討したか。

答 熊本地震があり、寄附金が災害支援に寄せられたことやふるさと納税に取り組む自治体が増えたことも要因。使途指定は、分析上、寄附金増加につながるという判断になっていないので導入してない。

【その他の質問項目】

町職員の自主研修、防災資機材備蓄事業、北海道医療大学連携推進プロジェクト、役場職員の障がい者雇用、町道中央十九線防雪柵設置工事の進捗状況、一貫教育推進講師、介護保険料の初回納付 など

『適正な決算と認定』 決算審査特別委員会報告



平成29年度各会計決算審査特別委員会
山岡委員長（写真左）・五十嵐副委員長（写真右）

起草委員会

委員長 市川 正
委員 石川 和 榮
委員 秋 場 信 一
委員 佐 藤 立

※決算委員会の審査結果報告文書を作成する委員会

総務文教常任委員会(9/20・10/1)、産業厚生常任委員会(9/21・10/2)、公共施設に

台風21号、北海道胆振東部地震の対応は

産業厚生 農業被害の調査は万全か

9月18日現在のビニールハウスやハウス内の花き・野菜への農業被害やその被害額(1億6,188万円)の説明がありました。また、納屋など農業用施設の被害報告もあり、それらの調査方法や今後の町の対応などについて質疑が行われました。



台風21号により倒壊したビニールハウス

問 説明では、農協で調査したデータを基にした被害報告とのことでしたが、農業関係の被害について、町独自で調査しているのか。

答 北海道の災害情報等取扱要領等に基づき、農協、土地改良区、農業改良普及センター、共済と連携し調査体制をとっているが、まだ全ての被害は把握できていない。

問 農業被害は漏れることなく拾えているのか。それとも、漏れないかなども含めて、今後、町として独自に動く予定はあるのか。

答 農協に属さない方や単独で出荷している方で、今後の共済からの報告でもカバーできない方については、町で情報を収集し、声掛けや聞き取りをしたいと思う。

総務文教 白樺公園の四阿倒壊



台風21号により倒壊した四阿

問 四阿は、必ず復旧するというよりは、どのように復旧するのがいいか、やはり議論していかねばならないと考えるが、いかがか。

答 復旧費関係の追加補正予算には計上していないが、国の災害復旧事業の補助を申請している。国の方向性を含め、今後内部で協議したい。

産業厚生 倒木 早急な対応を

伊達山林道付近の森林整備センターが管理する分収林に3haほどの風倒木がありました。今後の町としての対応について質疑が行われました。

問 風倒木の対応はどのようにするのか。また、全道的に同じような状況だと考えると、後回しにされないような姿勢を早急に示す必要があるのではないか。

答 風倒木は売払いを行い、そのエリアには植栽を行うなど、早期に回復するよう森林整備センターに強く要望していきたいと思う。

総務文教 道の駅のトイレ使えなくなる

問 地震による停電で道の駅のトイレが使用できなかったと報告があった。今後の停電時の対応は。

答 停電で浄化槽が使用できなくなった。停電が長時間となると浄化槽の維持管理機能が失われる。今後、蓄電池などで対応できるのか考えていきたい。



伊達山林道付近の倒木(ドローンにより撮影)

常任委員会の動画配信開始

9月議会より、常任委員会での町の提案説明やそれに対する質疑をインターネットで動画配信しています。ぜひ、ご覧ください。



関するあり方検討特別委員会(10/2)を開催し、町からの提案に対する質疑が行われました。

ふとみ保育所 公私連携型認定こども園化

総務
文教

地域と連携した幼児教育を

現在のふとみ保育所は、当別町が設置し運営を民間へ委託していますが、平成31年度からの公私連携型認定こども園^{※1}化に向け、引き継ぐ法人を選定するためのプロポーザル^{※2}が行われ、運営法人が社会福祉法人高陽福祉会に決まりました。



来年度より公私連携型認定こども園化されるふとみ保育所

問

地域との連携については、どのような評価であったのか。また、今後連携協定を結ぶとのことだが、できれば早めに内容を提示してもらいたい。

答

地域との連携については、地域の小学校や老人施設、高校などと連携した取組みを積極的に行いたいと提案があった。協定は早めに内容を提示していきたい。

問

より高い教育効果を求めて、公私連携型認定こども園に移行すると思うが、教育委員会と運営法人の考えに違いが出てきた場合、教育委員会としてどうしていくのか。

答

今後、教育委員会と運営法人とが公私連携協定を結ぶ中で、教育委員会が進める幼児教育の方針についても、運営法人と一緒に進めていきたいと考えている。

一体型義務教育学校 基本設計へ

総務
文教

基本設計には十分な期間を



当別小学校・中学校を一体型校舎に建替えるための基本構想が8月に策定され、今定例会の補正予算には、基本設計業務委託3,800万円が計上されました。その業務委託に対する質疑がありました。

問

基本設計は、当初示されたスケジュールどおりか。また、色々な方の意見を聞きながら、時間をかけてじっくりとやるべきとの意見があるが教育委員会の考えは。

答

基本設計は繰越明許費という形で翌年度に持ち越し、遅くとも5月までには完了したい。以降の実設計等についてはスケジュールどおり進めていきたいと考えている。

本会議

積算根拠と委託方法

問

基本設計業務委託3,800万円の積算根拠は。また、委託方法としては、公募型プロポーザルを考えているのか。

答

官庁施設の設計業務委託等積算基準の業務料算定基準を基に、延べ床面積等により算出した。また、委託方法としては、公募型プロポーザルで現在作業を進めている。

問

基本設計は、地域住民や議会の意見、パブリックコメントでの意見が反映されるよう、予算執行に十分に配慮してもらいたいと思うが、どのような考えか。

答

基本構想を作る際に様々なご意見をいただいた。その意見を基本設計の中に具現化するため、落とし込むために期間が足りないと考え、5月までとした。

※1 公私連携型認定こども園…民設民営でありつつも、町が関与し、運営法人と町とが連携して教育・保育活動を実施する認定こども園。

※2 プロポーザル…複数の事業者に目的に対する企画を提案してもらい、その中から優れた提案を行った者を選定すること。

地域医療のあり方検討会議 報告書

産業
厚生

具体的な政策立案を

町内の医療・福祉・介護などの専門家で組織する当別町の地域医療のあり方検討会議が3回開催され、その会議の報告書が町に提出されました。その説明を受け、今後の具体的な政策立案について質疑がありました。



検討会議報告書
(町ホームページ)

在宅医療の具体的な政策は？

問

具体的な措置が一番大事であるが、専門家の会議が入り口論的な報告で終わっている。この先具体的な政策を立案できるのか。今後の政策立案は福祉部が行うのか。

答

検討会議は3回をもって解散した。委員会や協議会にするなどの形は決まっていないが、専門家の方の意見も聞きながら具体的な政策の立案を行っていきたいと考えている。

問

この会議で具体的な政策立案をするものと思っていた。いつになったら具体的な議論ができるのか。具体的な政策に落とし込んで引き続き専門家の協力を得て進めていきたい。

答

この検討会議は、医療・福祉・介護の専門家から生の声が聞けたことについては非常に成果があったと思っている。町は早い時期に新たな方向性を決め、専門家の方々と一緒に考えていきたい。

その他の質問

総務
文教

150年の町史編さん

再来年に当別町は150年を迎えます。9月議会では、町史編さん委員会を設置する条例が提案され、町史編さんについて質疑が行われました。



当別町開基100年のパレードの様子(昭和45年)

問

100年史で疑問に思う点は何点もあり、改めていく姿勢が大事である。また、委員になる方には方針をしっかりと伝えることも大事である。どのような町史を編さんしようと考えているのか。

答

100年からの50年間のあり方と、100年史の記述で誤解を与えるものや古文書発掘により事実と異なる点があれば委員会の中で方向付けをして、町民に恥ずかしくない編さんをしていきたい。

【その他の質問項目】

被災自治体への職員の派遣(総務)、地震による町道の陥没(産業)、一体型校舎建設と財政状況(公共) など

総務
文教

道の駅 町の今後の関わりは

問

今後、町は(株)tobeをどのように成長させ、連携していくのか。また、どのように手を引いていくのか。

答

最終的な決定ではないが担当として、(株)tobeは民間の力を発揮し売上を伸ばし、町は交流人口の増加や経済の活性化を図る。連携しながらどこまで町がやるべきかは、今後議論が必要と考える。

総務
文教

JR 札沼線 地元説明会は

問

資料に医療大駅のバスターミナル化とあるが、説明会ではその話はなかった。また、月形町、浦臼町、新十津川町は廃線やむなしとなった。地元への説明会が必要と思うが、どう考えているか。

答

現況の医療大学駅はバスの乗降ができない。バスの路線は、当別駅から医療大駅を経由し月形へ向かうのが月形町の要望でもあるので、その話が進む前に地元の意見を伺いたいと思っている。

一般質問

山崎 公司 議員



「ここからは一般質問 10人の議員が登壇し、28項目の質問をしました。」

質問のねらい

道の駅 交流人口持続のために

開場して1年経過した道の駅、想定以上の入場者数。今後これを維持し、売上を改善するための施策と情報発信について質問した。今回の台風・地震の災害対策本部の町民への告知を含め、今回の災害を教訓とし

た住民との一体となつての対策を質問した。通学路の安全点検の結果と通常の住民との情報交換はどうされているか。また、太美地区のスウェーデン通りの樹木の維持管理のあり方について質問した。

ここを聞きたい

スウェーデン館の活用は

問 来年6月に開場予定であるスウェーデン館の北欧の情報発信の内容は。また、会議室・多目的ホール等をどのように活用するのか。

答 北欧のイメージの定着に向け、レクサンド市との姉妹都市交流やスウェーデンヒルズ等の情報発信を想定している。会議室や多目的ホールは会議や視察の受け入れ等の使用を考えている。

ここを聞きたい

道の駅の収支計画は

問 道の駅開場後1年が経過し、今までの来場者数、販売高、客単価、さらに今年度の収支計画は。

1,000人、販売高4億8,200万円、客単価は単純に割り返すと523円だが、実際に購入した人数で計算すると約850円であり、今年度の販売高は5億円超えを目標とし、2年目で黒字転換を目指すと聞いている。

ここを聞きたい

答 9月22日までの1年間で、入場者約92万



スウェーデン館イメージ図

ここを聞きたい

災害対策本部の告知は

問 今回の台風・地震の対策本部の開設により、町民への告知をどのように対応したのか。

にパトロールに出し、各行政推進員に個別に電話連絡をしたが1/3程度しかつながらなかった。また、自主避難場所の設置は、広報車により周知を図ったのと同時に、ホームページの復旧とその情報掲載を急がせた。

ここを聞きたい

答 地震発生直後、住民の安否確認や被害状況の把握のため、職員を速やか

ここを聞きたい

通学路の安全点検

問 6月18日発生の大阪府北部を震源とする大型地震で、塀の倒壊による児童の死亡事故があった。町として、どのような体制で、通学路の安全点検を行ったのか。その結果と対応はどうか。

答 教育委員会と教職員で目視及びハンマーを使った安全点検を行った。50年近く経過したものは解体した。点検結果を小中学校長に通知し児童生徒、保護者に地震時の行動について指導を徹底した。

ここを聞きたい

通学路の維持管理

問 太美地区のスウェーデン通りの松の木は電線より高く、災害で倒れたときに大きな影響が予想されるが、大丈夫か。

答 街路樹の植栽は道路緑化技術基準に基づいたものである。せん定しながら対応していく。

【その他の主な質問項目】

道の駅の情報発信、ふれあいバス西当別道の駅線、台風及び地震の被害状況の把握



一般質問

稲村 勝俊 議員

質問の
ねらい

次世代へ継承される農業を目指して

高齢化、担い手不足から農家戸数の減少が加速度を増して進みます。

当別町農業の課題は担い手にとって厳しい環境にあります。現状を分析し今後の取り組みにつなげ、より良い環境を担い手に継承するた

め、農業経営者、行政、農業関連団体が連携し農業の持続的継続を願い、課題の明確化と共有を主眼とし、質問しました。

ここを聞きたい 農業経営救済は緊急を要する

問 議会でも農業経営救済を求める意見書を採択した。当別町における長雨、日照不足等の異常気象、台風、地震による農業被害の状況と対応について伺う。

答 町としては国や道の支援状況、支援事業にまず迅速に対応し、これを取り込む。そして、農業者の営農意欲が高まるように町としても最大の努力をしていきたい。

ここを聞きたい 高い転作率をどう考えるか

問 当別町は転作が農家個々の判断に委ねられており、水稻の耕作率は約20～25%、新篠津村は50%弱。転作に対する考え方に大きく違いを感じる。当別町の転作率の現状と課題は何か。

答 産地交付金は農家経営の安定化に必要な役割になっていることは否めない。しかし、転作率を下げる工夫は長期的に当別町の農業を発展させていく上では必要不可欠な方策である。

ここを聞きたい 借地率 42.3%をどう考えるか

問 高い借地率は、農業経営の安定確保や地域資源の保全管理などの課題となる。担い手に所有権を移転しておくような農地流動化が望ましく、交換分合事業等、長期的に計画することも必要では。

答 農地の流動化、借地化にかかわる懸念は私も全く同じ考えだ。経営地の分散化による非効率な農業経営も何らかの手は打たなければいけない。



当別町の農業の持続的継続を願う。

ここを聞きたい 農業の課題の明確化と共有を

問 当別町の農業の現状は、担い手にとって厳しい環境だ。農家と行政、農協、農業委員会などの関連団体の連携が大切では。今後、歴史的な転換期での世代交代を迎える。農業の持続的継続を願う。

答 当別町の農業をしっかりと将来に向けて戦略を練っていくことが重要。町としても農業者、JA、関係者、農業委員会も含めた方々とできるだけ頻繁に打ち合わせをして、しっかりと道筋をつけたい。

ここを聞きたい 担い手の出会いの場づくりを

問 家族経営農家の急激な減少の背景にあるのが後継者の未婚化。配偶者の出会いの場支援について伺う。

答 まちコンなどに自ら参加するケースが少ないので、他町の成功事例を取り込み開催していくことがこれからの課題である。

【その他の主な質問項目】
今年度の農業被害の状況、転作個別自由型の選択など

一般質問

山田 明 議員



質問の
ねらい

「小規模企業振興条例」の制定を！

本町の小規模企業者の持続的発展を目指すため、「小規模企業振興条例」を速やかに制定すべき！

2年後に迫った当別町開拓 150 年に向けて、開催時期、予算、実行体制等の準備は、どの程度進んでい

るのか？

防犯、防災の観点から、早急に空き家対策計画を策定し、空き家対策協議会を設置すべき！

以上3項目、早急に取り組むべきと考え、町長に質問しました。

ここを
聞きたい

小規模事業者の振興

問 地域経済の活性化、地域社会の持続的発展に向け、小規模企業の事業活動の継続は喫緊の課題であると考えます。小規模事業者の振興を明確に位置付ける考えは。

答 小規模事業者を含む既存の中小企業振興の施策を重要なものとして既に明確に位置付けており、中小企業特別融資制度の拡充や企業立地促進条例の助成内容の拡大などに取り組んでいる。

ここを
聞きたい

小規模企業振興条例を制定すべき

問 本町の経済振興、雇用促進に結び付く小規模事業者の持続的発展を目指すため、速やかに小規模企業振興条例を制定し、その基本的な施策を定めることが必要ではないか。

答 そのような理念型の条例ありきではなく、中小企業にとって実用性の高い施策を展開していくことが何よりも重要と考えている。

ここを
聞きたい

当別町開拓 150 年に向けて

問 2年後に迫った開拓 150 年に向けて準備が進められていると思うが、現段階での開催時期や式典内容、記念事業などの内容はどのようになっているのか。

答 記念事業は、2020 年 10 月 10 日から 12 日で、役場内で部会を組織し運営する予定である。また、具体的な内容は、ワークショップなどで町民の意見を反映し立案していこうと考えている。

ここを
聞きたい

伊達記念館のリニューアルを

問 近年、歴史ブームもあり、町内外より伊達記念館を訪れる観光客が増えているが、施設の老朽化が著しい。今回の記念事業の一環として、リニューアルする計画はないのか。

答 伊達記念館リニューアルも含め、寄贈された古文書の解析や 150 年史の編さんなど歴史に根ざした諸事業を記念事業の一つとして当別の歴史を次代に継承していく取り組みを模索していきたい。



昭和 54 年に建設された当別伊達記念館

ここを
聞きたい

空き家対策協議会の設置は

問 町の責務として地域振興と防犯、防災の観点から計画を策定し、専門家を交えた空き家対策協議会を設置すべきでは。

答 放置しておく災害等で人命にも関わる。専門家を入れた空き家対策協議会の設置を進めていきたいと考えている。

【その他の主な質問項目】

小規模事業者に対する期待や支援のあり方、開拓 150 年の町内外への PR など



一般質問

澁谷 俊和 議員

質問のねらい 町長資産公開条例は生きているのか

町民の不断の監視と批判の下におくことにより、政治倫理の確立を期し、もって民主政治の健全な発展に資するためにも、町長の資産等の公開に関する条例をどれだけの町民が活用しているのかを問い、この5年

間で実質1人の閲覧者しかいないことを明らかにさせた。関連して、今後の改善点として資産等が極端に増減した場合、その理由（根拠）について閲覧者が分かるよう説明をつけるべきであることを要望した。

ここを聞きたい 条例の目的は果されているか

問 町長の資産等の公開条例の目的は果たされているか。また、町民の不断の監視と批判のもとにおくことで、政治倫理の確立、民主政治の健全な発展に資するためにも、改善すべき点はないのか。

答 条例の目的は果たされていると思う。また、改善点については、現在の公開方法が住民にあらぬ疑念や不信を与えるような内容にはなっていないので、現行の公開方法以外の想定はしていない。

ここを聞きたい 株券の減少は譲渡か贈与か

問 平成29年度の町長の資産報告では、株券が減少している。それが譲渡か贈与か判然としないが、どちらか。

答 個人の資産であり、何によるものかについてはお答えする必要はないと思う。

ここを聞きたい 災害対策本部設置の規定は

問 普段、台風などの警報が出されたときには、担当職員の泊り込み、早めの出勤、見回りなど万が一に備え対策を取っているが、災害対策本部の立ち上げの規定は具体的にどうなっているのか。

答 地域防災計画上、大規模災害が発生する恐れがあり、対策を必要とするとき等には町長が設置すると規定されている。また、震度5強以上の地震では、全職員を招集することになっている。



地震で停電中の役場玄関に設置された発電機

ここを聞きたい 上下水道の対策は

問 被災時には電気と水がいかにか大切に改めて痛感した。当別町では、断水となった場合、どのような給水体制がとられるのか。また、下水道が使えなくなった場合、どのような対策があるのか。

答 最寄りの避難所で、応急給水所を開設し、給水タンク、給水袋によって給水をする体制となる。また、下水道については、避難所に仮設トイレを配置して対応していく。

ここを聞きたい 町営住宅建設を急ぐべき

問 大きな被害を受けた自治体では「仮設住宅」で被災した住民の対応をしている。仮に、当別町が大きな被害を受け、町営住宅で応急対応するためにも、町営住宅の建設を急ぐべきではないか。

答 今回の震災を通じて大災害を意識した公共施設全般の整備を急ぐ必要があると痛感した。町営住宅に関しても、現在ある長寿命化計画の前倒しを具体的に明示できるように努力していきたい。

【その他の主な質問項目】
町としての節電の取り組み、倒木による道路遮断への対応、被災した自治体への応援体制 など

一般質問

秋場 信一 議員



質問の
ねらい

冬こそ試される高齢社会に向き合う行政サービスとは

高齢になっても住み慣れたこの町に住み続けられるために大雪と防災への危機管理について伺う。

商工振興策では減り続く小規模事業者が営み続けられるための当別型の補助制度について提案し、人口構

造に向き合ったお店の必要性を強調した。

また、台風事案ではあるが、木は資源でもあることから、倒木の有効利用についても伺った。

ここを
聞きたい

豪雪時の除雪体制強化を

問 高齢化がどんどん進んでいく時代に入り、冬に備える体制をどのようにしていくのか、弱者になっていく人達が増える分、重たい雪の除雪体制の強化が必要である。対策は充分にされるのか。

答 これまでも状況を見ながら適宜除雪を行っている。道路もできる限りのことを今後とも同じ体制で行っていく。想定外の大雪のときは災害に遭わないよう外出を控える啓発も町の役割と思う。



当別町内の除雪の様子

ここを
聞きたい

倒木の有効利用は

問 9月5日の台風による倒木の処理は業者に全て任せるのか。それとも、何か有効に利用できることがあれば、町民にアナウンスをするのか。

答 倒木の一部は町民の希望者に無償で配付しており、10月の広報、ホームページで案内している。また、チップ化する等の作業により、処理費の低減と資源の有効活用を図っていきたい。

ここを
聞きたい

冬の大規模停電の避難所

問 暖房を求める避難所の人たちの対応について、施設内の暖房はある程度は保たれていると思うが、そのエネルギーの備蓄はどのようにされているのか。

答 避難所は災害の規模に応じて適宜開設する。冬期間であれば当然に防寒対策を考慮し発電機・毛布・ストーブといった防災備蓄品を最大限に活用し対応する。不足が生じる場合は随時調達する。

ここを
聞きたい

一人暮らしの学生の不安解消

問 今回の災害で高層階に住む学生は、停電により水も使えず不便を感じていた。町内会に入っておらず防災訓練をしていない人達に対してどのような情報を行政として提供していくのか。

答 災害時に大学生に限って何か特別な対策をすることは考えにくいですが、町と大学とは連携協議会を定期的に持っているもので、親御さんが不安を感じないように共同で研究を進めていく。

ここを
聞きたい

小規模零細事業者への対応

問 当別町には小規模事業者・零細企業・個人店・飲食店がたくさんある。当別版・小規模事業者持続化補助金の創設は。

答 現在事業継承に関しても特別税制・補助金制度も整備され相談対応可能な体制も整えている。独自の創設の考えはない。

【その他の主な質問項目】
台風による倒木の処理、購買活性化対策 など



一般質問

石川 和榮 議員

「防災、減災」対策を行政の主流に

いつ災害が起きるか予測するのは難しいが、暮らしと経済を支える道路や水道管などのインフラ（社会基盤）の老朽化の状況を把握すれば、災害が起きた際の被害を予測することも可能と言われている。私達は平

時からハード・ソフト両面の備えを怠らない「防災意識社会」への転換を進めなければならないと強く感じ、今後の取り組みについて質問をしました。

ここを聞きたい 防災、減災対策の強化

問 空き家、空き地の有効活用の推進とともに通学路を含む道路や橋、河川、上下水道管など（社会インフラ）の老朽化対策は喫緊の課題であり、補修、更新など町はどのように考えているのか。

答 空き家、空き地の有効利用については、空き家対策協議会の設置を進めていく。また、通学路を含むインフラの老朽化対策については、今後も長寿命化計画に基づき施設の更新を推進していく。

ここを聞きたい タイムライン防災の普及を

問 行政が災害時にとるべき行動を時系列で整理する「タイムライン防災」を推進し、住民自らが避難行動を事前に定める「マイタイムライン」の普及に取り組むべきでは。

答 既にタイムライン防災を導入し、国などと連携して河川防災で一部活用している。この活用範囲を官民間わず広げたい。マイタイムラインは今後どのように普及させるか研究していく。

ここを聞きたい 災害リスクの分散を

問 温暖化による気候変動は今や現実のもの。一つの電力会社に頼らず、自治体で太陽光、木質バイオマスなどの再生可能エネルギーのさらなる活用を含めたりリスク分散が不可欠ではないか。

答 今年度、温室効果ガス削減の地球温暖化対策推進実行計画を改定した。木質バイオマス熱利用事業化計画も策定中。エネルギーの地産地消でリスク分散を図り、防災・減災対策を強化していく。



『当別町防災マップ』に掲載されているハザードマップ

ここを聞きたい 防災・減災対策を行政の主流に

問 2年前に町が全戸配布したハザードマップの存在を知る住民が少ない。災害が起きない時間が長く続くと危機感が薄れる。今こそ、防災・減災対策を行政の主流におくことが重要ではないか。

答 災害を契機に繰り返し啓発し、防災訓練や出前講座の回数を増やしていく。自助・共助・公助の体制をつくり、やはり災害時には自分の身は自分で守ることの重要性を訴えていきたい。

ここを聞きたい 網膜芽細胞腫の早期発見を

問 網膜芽細胞腫は目を侵すガンで発見が遅れると命に及ぶ危険性がある。乳幼児健診の項目に追加することで早期発見につながるのでは。

答 母子健康手帳には、瞳が白く見えるか否かの項目がある。その保護者の記録をもとに小児科専門医が診察をするが、今後は、その項目を問診票に明記し、必ず診察する体制をつくる。

一般質問

島田 裕司 議員



質問の
ねらい

老朽化した役場庁舎の建替えは

9月に発生した強風台風21号、北海道胆振東部地震と自然災害の恐ろしさを再認識させられた。

役場庁舎は昭和45年に建設された築48年の老朽施設であり、耐震改修工事が必要不可欠との診断が出てい

るが、実施の計画すらない。当別断層があるとも言われる中で、特に地震に対する対策を急ぐ必要がある。

防災対策本部となる庁舎の建替え等は、今は小中一貫校舎建設より、優先して検討すべきではないのか。

ここを
聞きたい

役場庁舎建替えが優先では

問 耐震改修工事が行われていない役場庁舎の建替え、あるいは大規模改修工事の計画を何よりも優先して取り組むべき。小中一体型校舎建設計画よりも役場庁舎を優先すべきでないか。

答 今回の災害を受け優先度はさらに高まった。建替えを基本に、施設の複合化、PPP、PFI及びリースの活用など新たな手法を取り入れ、早期建設に向けて選択肢を広げる作業をしている。

ここを
聞きたい

役場庁舎着工を早める工夫は

問 将来的に一体型校舎に変更できる設計をして、まず当別中学校の校舎を先行させて建てれば、一体校舎の完成を待たずして役場庁舎にも早く着手できるのではないか。

答 小中一貫校はこの数年間ご説明をし、私の感覚では議会の手前も得て進めているので、今の形で着々と進めていく。役場庁舎はこれから並行的に、庁舎として新たにどうするかを決めていく。

ここを
聞きたい

一貫校基本構想の再検討を

問 現在の基本構想では、町として目指す小中一貫校教育の将来像が見えてこない。もう少し時間をかけ、小中一貫教育の基本方針を含め、この基本構想を再検討する必要があるのではないか。

答 現段階での基本構想の見直しについては、今までの取り組みを否定することにもつながっていくので、考えていない。

ここを
聞きたい

生徒数減少の影響は

問 当別地区、西当別地区にそれぞれ一体型の一貫校を整備すると、今後生徒数が減少していくと、本当に教育委員会が求めている小中一貫の効果を実感できるのか。

答 児童生徒の減少は適宜判断しなければいけない要素である。町の施策によって今後人口の動きがどう変わっていくか慎重に判断しなければいけない。減ることばかり考えているわけではない。



昭和45年に建設された当別町役場庁舎

ここを
聞きたい

図書館建設の思いは

問 図書館は役場庁舎との複合施設に限らないとのことだが、建設に向けた思いは今も変わらないか。

答 図書館単体ではなく、複合施設として、つくりたいという気持ちは全く変わっていない。

【その他の主な質問項目】

一体型一貫校校舎建設の財源内訳、役場庁舎建設基金の創設 など



一般質問

鈴木 岩夫 議員

質問の
ねらい

災害から町民の生命と生活を守る

災害から町民の生命と生活、財産を守ることをテーマに被害の全容を把握し対策を講ずる。対策で生じた補正予算等には、道や国の支援を求め、3月末でなくなった入院ベッドの確保を今後どのように進め

るのか。一体型小中一貫校の建設計画は、今後の町づくりの全体計画、それにもなう財政計画にどのように位置付けされるのか等を町長、教育長に質しました。

ここを
聞きたい

台風と胆振東部地震の影響は

問

農業・商工業への被害による町財政への影響の程度は。また、減免申請などによる町税への影響は、どの程度か。

答

農業被害等が発生し、固定資産税などに少な

らず影響はあると考えるが、現時点では、減免申請はされておらず、町財政・町税全体への影響の程度等を見込むことは難しい。減免対象と思われる方については、戸別に調査を実施するなど対応していく。

ここを
聞きたい

河川整備は国や道へ予算要望を

問

町が管理する河川、排水の整備について、町が責任をもって整備すべきだが、限られた予算のため難しさもあると思う。道や国へ他の市町村と一緒に予算要望すべきでは。

答

現在の国の補助制度では、市町村の普通河川は補助金交付の対象外であり、整備が進まない。他の市町村と連携し、国や道に対して予算要望していこうと思う。

ここを
聞きたい

入院可能な医療機関の確保を

問

町内に入院可能な医療機関を確保するために、引き続き町内の医師会や医療機関に協力を求めていくことが必要で、最優先に進めるべきと思うが、どのように考えるか。

答

町内外の医師会や医療機関と面談を重ねているが、まだ結果は出ていない。今後もこれまで以上に粘り強く交渉を重ね医療機関の誘致を最優先課題として取り組んでいく。



町が管理するトヨベリ川

ここを
聞きたい

日EU、EPAの慎重審議を求む

問

日EU・EPAは、本町でも麦をはじめ農作物の生産に多大の影響が考えられる。影響額の試算内容とその対策、財源確保対策を含め慎重な審議を国へ働きかけるべきではないか。

答

課題は影響額や財源の確保対策が明確になっていないこと。関係団体や北海道町村会等で自治体連携するほうが効果が高いと思う。北海道町村会では委員という立場でしっかり声を上げていきたい。

ここを
聞きたい

町民が納得する一貫校建設とは

問

町民が基本構想を検討する際、町民が納得、安心できるように、まちづくり全体の財政運営計画をあわせて示すべきでは。

答

次期財政運営計画は来年9月に策定予定である。小中一貫校建設も含まれた計画となるので、出来次第お示しする。

【その他の主な質問項目】

全町・全体の被害把握、発電機設置補助、子育て環境の整備・充実 など

一般質問

五十嵐 信子 議員



質問のねらい

町民に優しい地域づくり

一日の大半を過ごす学校での子ども達への環境の配慮が必要であり、学習面においても、ICTを活用し興味や関心を高める学習方法を提供し学力の向上に役立ててほしいと思い質問しました。また、ボランティア

登録者数の多い町であるため、もっと活躍の場の提供や地域での見守り体制の構築をし、支えあい優しい地域づくりを目指していきたいと思い質問しました。

ここを聞きたい

eラーニングの活用・普及は

問 北海道教育委員会は、千歳科学技術大学と連携協定を締結し、eラーニングの活用の普及をしていると認識しているが、当別町においては今後どのように取り組みを進めていくのか。

答 導入にはインターネット環境が必要となるため、家庭での利用は教育委員会としては考えていない。学校はインターネット環境が整備されているので、学校と協議することはできると考える。

ここを聞きたい

eラーニングを選択肢に

問 eラーニングを選択肢として導入したら使うお子さんもいると思うし、補助具のような使い方しても有効であると思うが、どのようにお考えか。

答 ネット環境がある子は恩恵を受け、ない子は恩恵を受けられない。そのようなことを学校として教育委員会として率先してやるべきかは疑問に思う。導入についてはまだ早いと考える。

ここを聞きたい

GPSによる見守りを導入しては

問 認知症の方の介護する現場で心配とされるのが徘徊である。現在SOSネットワークが構築され、行方不明者を探しているが、早期発見の手助けとなるGPSによる見守りを導入しては。

答 GPSの導入については有効な手段であると考えられる。GPS機器には、携帯タイプと靴タイプとがある。導入方法も含め研究していきたい。

ここを聞きたい

カバンが重過ぎるのでは

問 小中学生の登下校時のカバンが重過ぎると子どもや保護者からも声が上がっている。今後どのように取り組みを進めていくのか。

答 少なくとも5年程前から対策を始めている。保護者からの申し入れは、学校にも教育委員会にも届いていない。今後状況を見ながら、学校ともさらに協議をしていきたいと思っている。



ここを聞きたい

認知症サポーターの活躍の場を

問 認知症の人と、その家族に優しい地域づくりのために、認知症サポーターが地域で活躍できる場や、地域コミュニティでの見守り体制の構築など、どのように考えるか。

答 認知症の方や施設などからのニーズの把握に努めるとともに、認知症サポーターのスキルアップや地域において認知症の方や家族が気軽に集まる場を広げていきたい。



一般質問

佐藤 立 議員



学校基本設計は1年間確保を

今議会に当別地区の義務教育学校新築の基本設計予算が提案されました。学校建築で最も重要な段階がこの基本設計です。教育委員会が策定した基本構想を基礎に、子ども達が生きていく社会の動向も踏まえて、

保護者、地域住民や教職員、そして子どもたちとの対話を通して、最高の教育環境をつくりあげるための作業です。基本構想のスケジュールに捉われることなく、十分な期間を確保するよう求めました。



基本設計の発注方式は？

問 基本設計の発注にあたっては、多様な候補から当別町の子ども達にとって最善の選択肢ができるよう、公募型プロポーザル方式によることが望ましいと考えるが見解は。

答 教育委員会としても公募型プロポーザル方式による業者選定を行うべく準備を進めている。



こども園の園庭の整備を

問 人間の基本的な動作は36種類あると言われていて、幼児期になるべく多くの体験をすることが望ましいため、日常的に遊ぶ園庭においてこの36の動作全て行えるよう整備すべき。

答 子どもの発達段階に応じて主体性を育む環境の整備は、幼児教育の質を高める上で充実すべきと考える。幼児期で目指す方向性をしっかり示しこども園との連携や指導に当たっていく。



基本設計の期間は？

問 子ども達に最適な環境を作るためには、基本設計が最も重要なステップである。基本設計の期間は、概ね来年5月までの半年間と表明されたが、1年程度の十分な期間を確保すべきではないか。

答 基本構想で示したスケジュールは現段階での予定であり、今後変更もありえる。柔軟に対応し、より良いものを構築していきたい。



園庭に設けられたツリーハウス(恵庭幼稚園)



町民が参加できる基本設計

問 新設の学校の多くは町民・保護者・先生方とのワークショップにおいて繰り返し議論をして形をつくられている。期間を半年間に限らず1年間というのをぜひ確保していただきたい。

答 基本のところはしっかり行っていきいたいと同じ考えをもっている。必然性があり延びるのは当然と思うので34年度の開校を目指して全体で取り組んでいく。



ふとみ保育所公私連携協定

問 公私連携協定で幼児教育の姿、地域と緊密に連携していく環境を形成することを明記する確認ができた。今後コミュニティ・スクール化も含め地域で支える体制の検討は行うのか。

答 義務教育の基本・基礎となるところは幼児教育であるため、学校運営協議会等の組織もフル活用しながら、小学校との円滑な接続を幼保小中連携という形でしっかり地域で支えていく。

平成 30 年第 3 回定例会

日程：9月19日～10月5日

◎：全員賛成 ○：賛成多数 ×：反対多数

傍聴人数 22人 議会中継視聴回数 549回 (11/20 現在)

結果
掲載ページ

【議員提案】			
林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書	◎		
平成30年の異常気象等に伴う農業経営救済を求める意見書	◎		
【専決処分】			
和解及び損害賠償額の決定について 公用車の物損事故について、損害賠償額を定め和解した専決処分の承認を求めるもの	◎		
平成30年度当別町一般会計補正予算(第2号) 姉妹都市宇和島市の災害対応に係る費用、1,156万円を増額補正し、その総額を93億3,697万円とした専決処分の承認を求めるもの	◎		
【人事案件】			
教育委員会委員(武岡和廣氏)の任命について 同氏が任期満了となるため再任するもの	◎		
【条例】			
当別町史編さん委員会条例制定 当別町史編さん委員会を設置するための条例制定	◎	p.8	
当別町地域間交流拠点施設の設置及び管理に関する条例の一部改正 使用料を徴収する施設を追加することに伴う条例の一部改正	◎		
【補正予算】			
平成30年度当別町一般会計補正予算(第3号) 9,555万円を増額補正し、その総額を94億3,252万円とするもの	◎	p.7	
平成30年度当別町介護保険特別会計補正予算(第1号) 2,465万円を増額補正し、その総額を15億4,159万円とするもの	◎		
平成30年度当別町一般会計補正予算(第4号) 6,320万円を増額補正 台風21号及び北海道胆振東部地震への対応	◎	p.6	
平成30年度当別町下水道事業特別会計補正予算(第1号) 219万円を増額補正し、その総額を8億9,343万円とするもの	◎		
【決算認定】			
平成29年度当別町各会計歳入歳出決算認定について 一般会計、国民健康保険特別会計、下水道事業特別会計、介護保険特別会計、介護サービス事業特別会計、後期高齢者医療特別会計の決算認定を求めるもの	◎	p.2 p.5	
平成29年度当別町水道事業会計決算認定について 水道事業会計の決算認定を求めるもの	◎		
【報告】			
株式会社 tobe の平成29年決算及び平成30年度事業計画に関する書類の提出について 地方自治法第243条の3第2項の規定により提出するもの	◎		
【その他】			
町道中央十九線防雪柵設置工事請負契約について 議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により議会の議決を得ようとするもの	◎		
【請願・陳情】			
《平成30年第3回定例会(9月)産業厚生常任委員会へ付託》 日EU・EPAの慎重な審議を求める請願書 [提出者]当別町農民同盟 委員長 堀 梅治 他4団体 [紹介議員]当別町議会 議員 鈴木 岩夫	継続		
《平成30年第2回定例会(6月)産業厚生常任委員会へ付託》 「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情 [提出者]札幌地区労働組合総連合 議長 赤坂 正信	採択		
《平成30年第2回定例会(6月)産業厚生常任委員会へ付託》 財源を含めた国内農業対策と新規加入条件が不明のままでのTPP11の国会承認はしないことを求める陳情書 [提出者]当別町農民同盟 委員長 堀 梅治 他4団体	不採択		
《平成29年第5回定例会(12月)公共施設特別委員会へ付託》 地方創成 都市再開発事業による「コンパクトシティまちづくり」 [提出者]荒田 謙	継続		

トピックス

姉妹都市 宇和島市への義援金

宇和島市へ義援金 1,000万円

平成30年7月6日から8日にかけて発生した「平成30年7月豪雨」は多くの犠牲者と被災者を生み平成では最大規模の被害となりました。宇和島市においても土砂崩れによる大きな被害がありました。



議員会からも義援金を渡しました。
(左:後藤議長、右:岡原市長)

トピックス

道の駅附帯施設 スウェーデン館

来年6月中旬オープン予定

スウェーデン館は完成後、町に寄附され、北欧イメージ定着に向けた情報発信等に活用されます。

トピックス

一体型義務教育学校基本設計業務委託 一体型校舎の基本設計 始まる

補正予算では、一体型義務教育学校基本設計業務委託が提案されました。

トピックス

決算審査特別委員会で審議

予算が効率的に使われたか？

決算審査特別委員会を設置し、予算が議決された趣旨と目的に従い適正に、そして、効率的に執行されたか、審議しました。詳しくは、p.2～5をご覧ください。

トピックス

不採択の委員会報告に反対討論

陳情者の意図を汲むべきだ！

6月29日参院本会議で可決、成立し、同承認案及び関連法案の成立を受け、引き続き審議する妥当性がなくなり、不採択としたが、陳情者の意図を汲み6月議会中に結論を出すことはできなかったのか。



鈴木議員

賛否が分かれた採決の公表

佐藤	五十嵐	鈴木	山崎	秋場	澁谷	山田	古谷	稲村	石川	岡野	市川	高谷	島田
○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。

次のページは

第2回モニター会議と視察研修等の報告です。

こんな記事を読んでもみたい！

第2回モニター会議でオリジナル記事についてご意見をいただきました。

読みやすく分かりやすい議会だよりづくりのために13人の町民の方にご協力をいただいている「議会だよりモニター（試行）」。

そして、8月30日に第2回モニター会議を開催しました。今回は、議会だよりにしかないオリジナル記事を目指して、読んでみたくなる記事についてご意見をいただきました。

今後新たな独自記事の編集を目指して検討を進めてまいります。



読んでみたい 多くの町民が登場する記事

「身近な方が紙面に登場していると、つい手にとって読みたくなる。」

読んでみたい 議会の議論の追跡記事

「議会で議論されたことが、町政にどう反映されたのかを知りたい。」

議会だより5月号（予算審査）が高く評価される

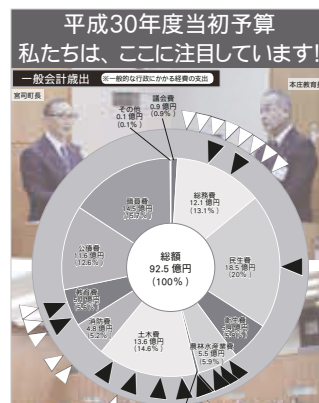
北海道町村議会議長会広報クリニック



議会モニターのみなさんと進めているリニューアルの方向性を確認するために、8月22日に開催された北海道町村議会議長会主催の議会広報クリニックに応募しました。これは、毎年10町村が採り上げられて、議会だよりの良い点や改善点などをプロの編集者からアドバイスいただける研修会です。

当別町議会は、今年の5月号（30年度当初予算審議）で応募しました。

good 何に注目しているかがひと目で分かる！



3月定例会の予算審査を紹介する記事の冒頭部分に予算審査で議員が質問した項目を、円グラフで表示してみました。議会の中での項目が注目されているのか視覚的に表現してみました。

news 別海町議会が視察に来ました！

とうべつ議会だよりのリニューアル状況を視察するため、別海町議会が来町しました。議会だよりについて視察を受けるのは今回が初めてです。

産業厚生 阿蘇公園の遊具を視察
 常任委員会 8/20 町内所管事務調査

水稻や大豆のほ場を視察し、生育状況などについて調査しました。また、道路改良工事が予定されている町道や阿蘇公園に新たに設置された大型コンビネーション遊具の視察も行いました。



新設した大型コンビネーション遊具で遊ぶ子ども達

産業厚生 認知症をテーマにした寸劇を視察
 常任委員会 8/23・24 道内所管事務調査

知内町ではバイオマス産業都市構想の取り組み、江差町では地域包括ケアシステム及び医療・介護連携の取り組みについて視察を行いました。(知内町・江差町)



江差町地域包括支援センターの職員による認知症などをテーマにした寸劇の様子

総務文教 だて歴史文化ミュージアムを視察
 常任委員会 10/24・25 道内所管事務調査

新ひだか町では新ひだか町創生総合戦略、伊達市ではだて歴史文化ミュージアムについて視察を行いました。(新ひだか町・伊達市)



平成31年春オープン予定のだて歴史文化ミュージアム

森林 国産材の新たな価値の創造を
 活性化推進 議員連盟 10/27 講演会 (ゆとろ)

森林・林業・林産業活性化推進当別町議会議員連盟では、北海道森林管理局新島俊哉局長をお迎えし「森林資源が充実してきた今だからこそ考えなければならないこと」と題した講演会を開催しました。



講演会の会場の様子

公共施設 立地適正化計画の先進地を視察
 特別委員会 10/29・30 道内所管事務調査

美唄市ではコンパクトシティ構想(立地適正化計画)、鷹栖町では立地適正化計画について視察を行いました。(美唄市・鷹栖町)



鷹栖町議会での研修の様子

当別町議会 農業・商工業団体と懇談
 11/12・13 議会報告会

農業・商工業団体を対象に、12日はゆとろ、13日は西当別コミュニティーセンターで議会報告会を開催しました。詳細は、平成31年2月発行の議会だより第196号に掲載する予定です。



ゆとろでの議会報告会の様子

議会のうごき（平成 30 年 8 月～11 月）

8 月 6 日	南幌町議会行政視察来庁	10 月 4 日	第 3 回定例会 議会広報特別委員会
8 月 20 日	総務文教常任委員会 議会広報特別委員会 産業厚生常任委員会町内所管事務調査	10 月 5 日	第 3 回定例会 平成 29 年度各会計決算審査特別委員会 議員協議会 議会広報特別委員会
8 月 21 日	公共施設に関するあり方検討特別委員会 別海町議会議会広報視察来庁	10 月 11 日	佐賀県三養基郡町村議長会行政視察来庁
8 月 22 日	北海道町村議会議長会議会広報研修会 議会広報特別委員会	10 月 19 日	議会広報特別委員会
8 月 23-24 日	産業厚生常任委員会道内所管事務調査	10 月 23 日	総務文教常任委員会 議会運営委員会
8 月 30 日	第 2 回とうべつ議会だよりモニター会議	10 月 24-25 日	総務文教常任委員会道内所管事務調査
9 月 6 日	会派代表者会議	10 月 26 日	議会広報特別委員会
9 月 12 日	議会運営委員会	10 月 27 日	当別町議会森林議員連盟講演会
9 月 19 日	会派代表者会議 議会運営委員会 議員協議会 第 3 回定例会 議会広報特別委員会	10 月 29-30 日	公共施設に関するあり方検討特別委員会 道内所管事務調査
9 月 20 日	総務文教常任委員会	11 月 6 日	山梨県甲斐市議会行政視察来庁
9 月 21 日	産業厚生常任委員会	11 月 8 日	議会広報特別委員会
9 月 25 日	第 3 回定例会 議員協議会 議会広報特別委員会	11 月 12 日	議会報告会（ゆとろ）
9 月 28 日	議会運営委員会	11 月 13 日	議会広報特別委員会
10 月 1 日	平成 29 年度各会計決算審査特別委員会 総務文教常任委員会	11 月 16 日	大分県中津市議会行政視察来庁 議会報告会（西当別コミセン）
10 月 2 日	平成 29 年度各会計決算審査特別委員会 産業厚生常任委員会 公共施設に関するあり方検討特別委員会	11 月 21 日	会派代表者会議
		11 月 26 日	議会広報特別委員会
		11 月 30 日	議会運営委員会 産業厚生常任委員会 公共施設に関するあり方検討特別委員会

12 月定例会のご案内

- 平成 30 年 12 月 4 日から予定しています。
- 一般質問、補正予算の審議などが行われる予定です。
- 本会議や各委員会も傍聴できますので、ぜひ、お越し下さい。
- ※日程は決まり次第、ホームページへ掲載します。

当別町議会インターネット中継

- 本会議と常任委員会のライブ中継と録画中継をインターネットにより配信しています。
- ※詳しくは、ホームページをご覧ください。



編 集 後 記

台風 21 号、北海道胆振東部地震により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

改めて日頃からの「防災・減災」への意識を町民の皆様と一緒に高めていかななくてはならないと感じました。

これからも皆様に親しまれ、手に取って読んでいただける議会だよりとなるよう努力して参ります。

皆様からのお声が励みとなります。是非お待ちしております。

議会広報特別委員会 委員 五十嵐 信子

◇ご意見ご感想をお寄せください◇

【議会事務局】

〒061-0292 石狩郡当別町白樺町 58 番地 9
TEL : 0133-23-3247 FAX : 0133-23-4474
E-mail:gikai@town.tobetsu.hokkaido.jp

議会広報特別委員会

委員長 古 谷 陽 一
副委員長 佐 藤 立
委員 秋 場 信 一
委員 鈴 木 岩 夫
委員 五十嵐 信子